

+Affiliated with the International Association
 THE Y S MEN S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
 Chartered October 30, 1994



〒194-0211
 東京都町田市相原町1857
 長谷川 あや子
 TEL.&Fax:042-771-6962
 E-mail: ayako.h3@nifty.com

2026年6月

The Service Club of The YMCA

第372号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	長谷川 あや子	国際会長 エドワード・オン (シンガポール) 主題「信念、愛、行動」
副会長	久保田 貞視	スローガン「共に、より強く」
書記	小口 多津子	アジア太平洋地域会長 田上 正 (熊本むさし) 主題「信念と愛を持って行動しよう！」
会計	稲葉 恵子	スローガン「YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう」
直前会長	並木 真	東日本区理事 山下 真 (十勝) 主題「ワイズのらしさ再発見」
担当主事	西嶋 健太	スローガン「Change!」
プリテン	山本英次 大久保重子	あずさ部部長 山口 直樹 (東京武蔵野多摩) 主題「垣根を低くし、活発な活動を」
		八王子クラブ会長 長谷川 あや子 主題「若い人の成長を願い、ともに歩む」

2026年6月第一例会プログラム

日時: 6月13日(土) 18:00~20:00
 会場: 八王子北野事務所2階 大会議室
 担当: A班(稲葉、小口、並木真、長谷川)

受付: 稲葉ワイズ 司会: 並木真ワイズ
 開会点鐘 長谷川

川会長
 ワイズソング 一同
 ワイズの信条 一同
 ゲスト・ビジターの紹介 長谷川会長
 聖書朗読・お祈り 小口ワイズ(代読・司会)

卓話: 「知らない」と損する福祉の手続き、事前知っておきましょう〜大切な家族が倒れた時にあわてないよう〜
 卓話者: 峰 毅ワイズ(東京多摩スマイル・社会福祉士/精神保健福祉士)

東京YMCA報告 西嶋担当主事
 報告・連絡事項 会長・各委員
 スマイル 稲葉ワイズ
 ハッピーバースデー 長谷川会長
 ゲスト、ビジターから一言 司会
 閉会の挨拶 長谷川会長



東京西クラブ 50年の歩み: 神谷会長

先月の例会ポイント (5月)

在籍	11名	切手	計	0g
メン	6名			
メイキャップ	3名			
出席率	82%	現金		0円
メネット	0名	スマイル		9,600円
ゲスト	2名	累計		99,250円
ビジター	1名			
ひつじくも	15名			

今月の聖句 (2026年6月)
 体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様です。なぜなら、私たちは皆、ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、一つの霊によって一つの体となるために洗礼を受け、皆一つの霊を飲ませてもらったからです。実際、体は一つの部分ではなく、多くの部分からなっています。足が、「私は手ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。耳が「私は目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。(コリントの信徒への手紙一 12:12-16 聖書協会共同訳)

巻 頭 言

一年を歩んで

八王子クラブ 会長 長谷川あや子

2025-26年度もこの6月をもって終了し次年度へと引き継がれます。会長主題は「若い人の成長を願い、ともに歩む」といいたしましたが、ともに歩むことができましたでしょうか。

中大ひつじくもの皆さんとの交流も25年にひよります。その間、コロナ禍という試練も受けましたが、交流が途絶えることなく、むしろきめ細やかな対応によって結びつきがより強くなったように思います。お互いに敬愛する気持ちがなくてはこのような交流は続きません。若い人たちの柔軟な感性、各種報告の確かさに驚かされ感心させられる事が多々ありました。「ひつじくも」という大所帯の中心である委員長はじめ委員の皆さんの責任感の強さでしょう。私たちワイズも奮い立たされる思いでした。そして八王子クラブのメン、メネット



がいいつも暖かく彼らと接していることも交流が続いている由縁でしょう。これからも「ともに歩む」という姿勢で街頭募金やチャリティコンサート

など末永く交流していきたいと思えます。毎月の例会は担当班を中心に周到に準備して下さったお陰で大変充実した例会になりました。

7月「Tokyo YMCA Vision150」星野太郎総主事

8月 直前会長感謝会—東京多摩スマイルクラブとの合同例会

9月「脳とこころの不思議な関係」山口和彦ワイズ

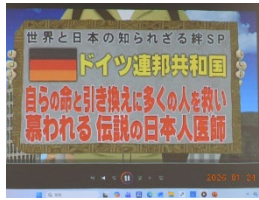
10月「熊本でのAYCに参加して」岩崎葵さん

11月「日本での百年—カナダ・メソジスト教会

の歩み」後藤哲夫ワイズ

12月 クリスマス例会—わくわくビレッジ

1月「八王子の偉人—肥沼博士」田口秀夫氏



2月「フードバンク 八王子えがほの働きの今」

三浦すみえ氏

3月 第24回チャリティコンサート

4月「日本の政治と外交」大谷博愛ワイズ

5月 中大ひつじくも新歓草刈り&BBQ

6月「知らないと損する福祉の手続き、事前に知っておきましょう」峰 毅ワイズ



どの月の例会も充実した内容でした。

毎月発行されるブリンも写真が豊富で美しく、例会の内容も詳細に記録されていました。クラブの一人一人が「よいクラブにしたい、楽しい集いにしよう。自分の出来る事で貢献する」と思って下さったお陰です。

2026-27年度も久保田会長を中心に皆で力を合わせ、よいクラブにしていきたいです。

一年間ありがとうございました。

東京西クラブ 設立50周年記念の集いに参加して 久保田貞視

5月14日(木)午後1時から杉並会館で開催された東京西クラブの設立50周年記念の集いに長谷川会長、稲葉ワイズと共に参加しましたので概況報告いたします。東京西クラブは1976.6.15のチャーターし、当初は東京YMCA杉並センターとの協働で種々活動していましたが、やがてYMCAは閉鎖を余儀なくされました。そのため1997年11月WHO(ウォーキングホリデー・イン・オギクボ)を立ち上げ最近まで継続していました。毎回近隣の人を対象に50名前後と多くの参加者で、月1回で東京近郊を主にこれまで257コースを回っていました。これをまとめた小冊子「WHOが勧めるウォーキングコース」を発刊し、参加者に配布されました。

今回の記念の集いには、「西」のつく日本のクラブ6クラブがヘキサゴンのDBCを締結しており内5クラブが出席し全体で50名のワイズメンがお祝いに駆けつけました。

プログラムは神谷会長の歓迎の挨拶に始まり、ヘキサゴン代表として京都ウェストクラブの森田ワイズが祝辞を述

べ、山下東日本区理事、山口あずさ部長の祝辞が続きました。

乾杯は元国際会長の江東クラブの藤井ワイズが音頭をとり懇親会となりました。

その間、本川ワイズのバイオリン演奏、神谷会長が立ち、「50年のあゆみ」パワーポイント等を利用して報告されました。食事については杉並会館の料理は美味しく、出席者は満足して東京西クラブの設立50周年を祝い、伝統ある東京西クラブに別れを告げることにいたしました。

東京西クラブはこの50年記念の集いを最後に東京武蔵野多摩クラブ、東京たんぽぽ Y サービスクラブと統合し、7月の新年度からは東京ワイドウェストクラブとして発足します。



東京西クラブ 設立50周年記念例会

草刈と BBQ 例会に感激して

町田コスモスクラブ 加藤祐一氏 寄稿

町田コスモスの加藤です。5月16日土曜日は東陽町で東新部の部会のある日ではありましたが、この高尾の森わくわくビレッジで開催される、中央大学学生YMCA



率先垂範：
加藤さん

「ひつじくも」との草刈りとBBQの会に参加したいという強い気持ちがありまして、八王子クラブの例会に参加させていただきました。

午前10時、施設

4階の学習室で行われたオリエンテーションでは、並木さんのもと、自己紹介や活動説明が丁寧に進められ、中央大学1年生を2年生からOBまで幅広く温かく迎える雰囲気になりました。一年生の歓迎会も兼ねていて、ワイズと一緒に4つの班に分かれて活動を開始しました。私が入ったA班には長谷川さん、山本さん、男子や女子学生さんがおりました。青空いっぱいの下、ファイヤー

レスの草刈り作業を四つ葉のクローバーも探しつつ、そのあと茂みいっぱいのところを応援。汗をたっぷりかいたあと、かまど作り、火を起こしや調理は私が積極的にを行いました。



A班 長谷川会長・山本メン

太陽の下、煙と香りのなかでのバーベキューに大量のお肉や野菜をどんどん調理、最後に残った食材は、イカ。鉄板でイカを炒める学生さんにへらの使い方を伝え、一緒に調理を楽しめました。気づいたら完食でした。こうした交流の中で、ワイズメンズクラブが若い世代を応援し、国際交流へもつながる活動を紹介しておりました。食後の時間でした。皆さんの前で私は「ハレルヤ」の歌を歌唱指導し、一緒に合唱することができました。野尻キャンプ時代を思い出し、かつてのリーダー活動の記憶がよみがえりました。若い世代と歌い、働き、語り合った一日は、本当に心温まる貴重な経験となりました。ありがとうございました。



B班
稲葉メン
花輪メン
ひつじくも



C班
久保田メン
ひつじくも



D班
並木信一メン
大輪匡史氏
ひつじくも

「新歓バーベキュー大会に参加して」
委員長 霞ひかる

中央大学総合政策学部3年の霞ひかるです。

5月16日に高尾の森わくわくヴィレッジで行われた新歓草刈り&BBQに参加しました。ひつじもからは既存メンバー7人に加え、新入生が9人参加してくれました。



当日はまず草刈りを行いました。普段の生活の中ではなかなか経験する機会のない作業でしたが、参加者同士で声を掛け合いながら協力して進めました。最初は草が生い茂っていた場所が少しずつきれいになっていく様子に、みんなで一つのことに取り組む達成感を感じました。また、作業

をしながら自然と会話も生まれ、新入生や他学年のメンバーと交流を深める良い機会になりました。

草刈りの後にはBBQが行われました。わくわくヴィレッジでのBBQ、自分たちでかまどを組み、薪を割るところから始まりました。普段の生活ではなかなか経験できないことばかりで、最初は慣れない作業に苦戦しましたが、みんなで準備を進める時間も楽しく、体を動かした後だったこともあり、普段以上に食事がおいしく感じられました。用意されていた食材もとても豊富で、気付けばお腹がいっぱいになるまで食べていました。食事を囲みながら大学生活や授業、ひつじもの活動について話し、それぞれのことをより知ることができました。

現在ひつじもでは新入生の入会希望を受け付けています。どのようなメンバーが新たに加わるのか、今からとても楽しみです。新しい仲間を迎え、これからのひつじもがどのような活動を作り上げていくのか期待しています。



楽しかった一日を笑顔と共に

みんなの笑顔





今月の聖句に寄せて (2026年6月)

「自分の家庭に平和がなかったら、外に向かって平和を説くことはできません。身近な人を愛せなくて、どうして他の人に愛を説くことができます。家庭は小さな一つの社会です。家庭を大切にしてください。家庭に優しさ、温かさがなければ、家族は温かさを求めて散ってしまいます。これでは家庭の崩壊です。家庭の平和は夫婦が互いに作っていくもので、努力なしにはできません。」
「家庭は憩いの場です。けっしてホテルのようであってはなりません。疲れて帰ってきた主人や子どもを小言で迎えてはなりません。暖かい笑顔と、ねぎらいの言葉こそ大切です。『住む』という字が『人』と『主』から成り立っています。これは偶然ではないと思います。家庭が安らぎの場であることをよく考えてみてください。主とともに住むところは、気持ちの落ち着く安心な場所です。」(バレンタイン・デ・スーザ著「そよ風のように生きる一旅ゆけあなたへ」女子パウロ会刊 より抜粋)

家庭の中に、心身に課題を抱える家族を抱えるようになった時ほど、今月の聖句に示されている言葉の真実に思い至るときはありません。多くの部分があっても体は一つであり、「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」と、パウロは教えます。同様に、バレンタイン・デ・スーザ司祭は、家庭にあって、家族一人一人の優しさにあふれた関係によってもたらされる平和こそが、人が外に向かって働くときのエネルギーの源泉である、と語りかけています。

今、家庭内に健康上の課題を抱える家族を前にして、今月の聖句をかみしめつつ、甘えもあって、過去にしばしば家庭や家族をないがしろにして過ごしてきた自分を恥じることしきりです。

並木信一



高尾わくわくビレッジ便り

館長 西嶋健太

木々の緑が日に日に濃さを増し、初夏の訪れを感じる季節となりました。皆さまには日頃より高尾の森わくわくビレッジの運営に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

5月は、わくわくビレッジにとって新たな挑戦のスタートとなる一か月でした。5月17日には、子どもたちの新しい居場所づくりを目指した「VMSTOP Waku Ville(ヴィヴィストップ わくビレ)」が開設されました。これは、特定非営利活動法人 VIMTA JAPAN との協働により実現したもので、小学4年生から高校生までを対象とした創造活動の場です。

VMSTOP では、大人が一方向的に教えるのではなく、子どもたち自身の「やってみよう」という好奇心を出発点に活動が進みます。3Dプリンターやレーザーカッターなどのデジタル機材から、身近な素材までを自由に活用しながら、自分のアイデアを形にしていきます。学校や家庭とは異なる「第三の居場所(サードプレイス)」として、多様な仲間や大人と出会いながら、自ら考え、挑戦し、成長できる場となることを目指しております。

また、館内では昨年度に実施した多摩美術大学との連携事業「Poiesis(ポイエーシス)」の作品展示も引き続き行っております。Poiesisは、森で集めた枝や木の実、葉などの自然素材だけを使って動物の彫像を制作するアートプロジェクトです。接着にも自然由来の素材を用いているため、役目を終えた作品は再び森へ還ることができます。その朽ちていく過程までも作品の一部として捉える考え方は、多くの来館者の関心を集めています。現在も館内に展示された作品は、訪れる方々に自然とのつながりや創造する喜びを伝え続けています。

一方で、この春お近隣地域においてクマの目撃情報も報告されております。当館では関係機関との情報共有を行いながら、利用者の皆さまの安全確保を最優先に運営を行っております。巡回や注意喚起の強化をはじめ、安全対策を徹底し、安心して自然体験を楽しんでいただける環境づくりに努めております。

これから梅雨の季節を迎えますが、雨に濡れた森ならではの美しさもまた、この場所の魅力の一つです。今後も高尾の森わくわくビレッジは、自然と人、人と人がつながる場として、皆さまに親しまれる施設を目指してまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



Poiesis

ひつじぐも便り

中央大学総合政策学部国際政策文化学科
ひつじぐもサークル 鳥越琴乃

6月に入り、梅雨の訪れを感じる季節となりました。今年は早くも台風の影響を受ける日もあり、不安定な天候が続いています。新歓期間も一区切りを迎え、ひつじぐもでは新しく加わった仲間たちとともに活動を行う機会が増えました。

5月16日には、八王子ワイズメンズクラブさん主催の「新歓草刈り&BBQ」に参加しました。高尾の森わくわくヴィレッジにて、1年生9名を含む計15名で活動を行いました。草刈りでは慣れない作業に苦戦する場面もありましたが、協力しながら取り組む姿が見られました。その後のBBQでは、お肉や焼き野菜、海鮮、焼きそばなどを囲みながら交流を深めました。新歓で出会ったばかりの1年生も、活動や食事を通して少しずつ打ち解けていく様子が印象的で、学年を超えたつながりを感じられる1日となりました。

また、5月のゴミ拾い系の活動では、多摩センター駅周辺で清掃活動を実施しました。地域の美化に貢献するだけでなく、普段あまり話す機会のないメンバー同士が交流できることも、ゴミ拾い活動の魅力の一つだと感じています。今回も学部や学年を問わず多くのメンバーが参加し、活動を通して親睦を深めることができました。

さらに、5月17日にはみさわ児童館で開催された「みさわ子どもまつり」に参加しました。今回の活動は、児童館としてもひつじぐもとしても最後の新歓活動となり、24名の学生が参加しました。当日は各ブースが多くの子どもたちで賑わい、会場全体が活気にあふれていました。新入生の中には児童館活動への参加が初めての人もいましたが、積極的に子どもたちと関わり、一緒に楽しむ姿が見られ、とても頼もしく感じました。活動後には子どもたちの発表を鑑賞したり、ポップコーンをいただいたりする時間もあり、学年を超えて交流を深める良い機会となりました。

今年の新歓活動では、多くの新入生がひつじぐもの活動に参加してくれました。活動を重ねる中で少しずつ打ち解け、楽しそうに交流する姿を見るたびに、とても嬉しく感じています。これからは新しい仲間とともに、ひつじぐもらしい温かい雰囲気を大切にしながら、より充実した活動をつくっていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



東京 YMCA 便り

担当主事 西嶋健太

- 4月25日、東日本地区YMCA役員研修会がオンライン開催され、東日本地区各YMCAの役員、運営委員、管理職職員など計60名(内東京YMCAから12名)が参加した。「子どものこころの育ち(こ)YMCA」(こ)のように寄り添うかをテーマに、田中哲氏(児童精神科医)から講演をいただいたあと、グループに分かれて意見交換を行った。
- 4月28日、「第35回チャリティーゴルフ大会」がPGM総成ゴルフクラブ(成田市)で開催され、19組65人が参加した。益金約40万円はウクライナ支援及びフレンドシップファンドとして用いられる。
- 4月29日～5月1日、山中湖センターにて「キャンプディレクター研修会」を実施した。東京YMCAの野外、健康教育、保育等の分野の職員に加え、埼玉、ぐんま、滋賀の各YMCAからの参加もあり、14名が下記キャンプに備えて実践的な学びの時を持った。
- 5月23日、「第23回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに90名が集い、14名がオンライン配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部を開会。星野太郎総主事から東京YMCAの活動報告があり、2026年度の会員部運営委員が推挙された。また若槻史郎氏が名誉会員に推挙された他、会員部運営委員や早天祈祷会の継続と発展にご尽力されたミッション委員会に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られた。特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。レクリエーションやキャンプングを楽しんだ後に、第三部では、中期計画推進委員長の上田晶平氏と職員より中期計画「TOKYO YMCA VISION 150」の5つの行動指針とプログラムについての進捗報告があった。会場では、能登半島地震・豪雨被災者支援のための物産販売を行った。
- 今年度より高尾の森わくわくヴィレッジにて、子どもたちのアイデアを形にするクリエイティブスペース「VIVISTOP」の運営を開始する。デジタル機材や様々な工具を備え、自発的なものづくりやアート活動を支援するプログラム等を準備している。
- 今後の主な行事予定
 - ・「早天祈祷会」6月1日(山手センター/オンライン) 奨励: 太田直宏氏(日本YMCA同盟総主事)
 - ・「日本YMCA同盟協議会」6月20日～21日(日本YMCA同盟東山荘)
 - ・「第21回世界YMCA大会」7月19日～7月25日(カナダ・トロント)
 - ・「キッズワールドカップ in 韓国」8月10日～14日(ソウルYMCA)
 - ・「外国にルーツのある子どものサマーキャンプ」8月21日～23日(山中湖センター)

次のページへ続く

7 ページより続き

- ・「第40回インターナショナル・チャリティーラン」9月26日(都立木場公園)
- 7. 関連団体の動き
- ・ぐんまYMCA総主事就退任式 5月9日 会場:日本基督教団 前橋教会
村上祐介総主事退任 池田麻梨子総主事就任
- ・在日本韓国YMCA総務就退任式 6月9日 会場:在日本韓国YMCA
朱宰亨総務退任 劉慶鍾総務就任

以上

6月で誕生されたメンバー

当クラブメンバーには
対象者はいらっしゃいません。

緊急報告 (写真のみ LINE より)



東日本区大会参加者：八王子クラブ

今月の卓話者プロフィール
峰 毅ワイズ

- ・社会福祉士/精神保健福祉士
- ・現在、行政職(高齢者福祉)として勤務。
- 10歳の時に神戸 YMCA の余島キャンプに参加した事を契機に、神戸 Y ユースクラブで地域活動に励み、大学時代は学生 YMCA で(Student Christian Movement)SCM に参画。ワイズライブは25年前にスタート、東京多摩スマイルクラブに至ります。
- ・カトリック東京大司教区本部事務局参与(福祉介護領域)
- ・好きな言葉「命は確かにあなたのものだが、あなたのものではない」

今月の例会報告

2026年5月第二例会・報告

長谷川あや子(書記代行)

- ☆中大ひつじくも新歓草刈り&BBQ
- 日時:2026年5月16日(土)10:00~14:00
- 会場:高尾の森わくわくビレッジ
- 出席者:稲葉、久保田、並木信一、長谷川、花輪、山本
- ゲスト大輪匡史、渡邊敦、ビジター加藤祐一
- 中大ひつじくも 15名
- 10:00~10:30 開会
- 10:30~11:30 草刈り
- 11:30~13:00 BBQ
- 13:00~14:00 BBQ片付け、懇親ゲーム
- 14:00 閉会、現地解散



ユース活動報告：並木 真



最優秀ブリテン賞：八王子クラブ